

ディスクの取り扱いについて / お手入れのしかた

CD (コンパクトディスク)



のマークがついているものを、
ご使用ください。

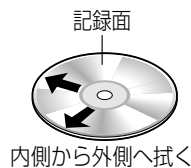
持ちかた

ディスクのセンターホール
と外周部分を持ちます。



CDが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で
拭いたあと、乾いた布で
拭いてください。



お知らせ

- データを読み取って再生が始まるまでに、時間がかかる場合があります。
(読み取り中は「TOC READ」と表示されます。)

取り扱いのお願い

CDそのものの破損、および機器の故障の原因になる
ことがありますので、次のことをご守りください。

- 記録面に手を触れない
- CDが回転する方向に拭かない
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤で拭かない
- CDを曲げない、キズを付けない
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない

CD-R/RWディスクのご使用について

再生できるディスクは、通常の音楽CDの形式(CD-DA)で記録されたCD-R/RWに限ります。

- CDレコーダー(CD-R/RWドライブ)で記録したCD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクは通常の音楽CDに比べて高温多湿環境に弱いので、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- クローズセッションされていないCD-R/RWディスクは再生できません。
- CD-DA以外のデータ(MP3やWMAなど)は、再生できません。

コピーコントロールCDについて

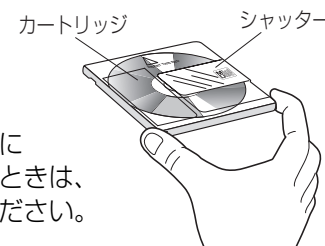
パソコンなどによるコピー防止を目的にコピーコントロールが施された音楽CDが発売されています。これは、現状CD規格に合致しないディスクであり、本機での再生は保証致しかねます。通常のCDを用いた再生には支障がなく、コピーコントロールCDを用いた再生にのみ支障がある場合は、コピーコントロールCDの発売元にお問い合わせください。

MD (ミニディスク)

- 録音済みの音楽用MDをご使用ください。

MDが汚れたら

カートリッジの表面に
汚れやゴミがついたときは、
乾いた布で拭いてください。



シャッターに手・指を触れないでください。
使用中に高温になることがあります。

お知らせ

- データを読み取って再生が始まるまでに、若干時間がかかる場合があります。
(読み取り中は「TOC READ」と表示されます。)

取り扱いのお願い

MDそのものの破損、および機器の故障の原因になる
ことがありますので、次のことをご守りください。

- シャッターを開けない
無理に開けると破損することがあります。
中の円盤には、直接手を触れないでください。
- 指定外の場所にラベルを貼らない
- ラベルのはがれかかったMDは使用しない
本機の中で引っかかるなど、故障の原因になります。
- CDの挿入口に、MDを入れない
- MDの方向と表裏を確認して挿入する
無理に入れると、故障の原因になります。

ディスク (CD, MD) の保管について

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光のあたるところ(車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接あたるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のあるところ
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

著作権について

音楽などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権者の許諾を得ないでディスクに複製(録音)、配布、配信することは、著作権法で禁止されています。十分ご注意ください。

パネルのお手入れについて

パネルが汚れたときは

- 電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。



使用しない